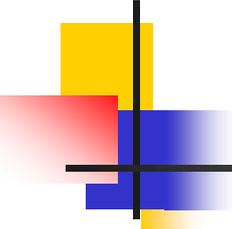


介護料受給者及び被害者団体会員に対する アンケート調査結果報告書(概要)



I. 介護料受給者等に対するアンケート調査の概要

1. 目的

本調査は、療護センターの将来のあるべき姿を検討するにあたり、療護センターの役割、機能、体制等に対する利用者（入院患者及びご家族）のニーズや意識について幅広く調査することを目的として実施したものである。

2. 調査概要

- 調査対象： 介護料受給者及び被害者団体会員及びそれらの家族
- 調査時期： 2022年9月末（郵送日）～2022年11月11日（締切日）
- 調査方法： 調査票による記入方式（郵送配布、郵送回収）
- 配布数： 1,733名 回収数： 880名 回答率 50.8%

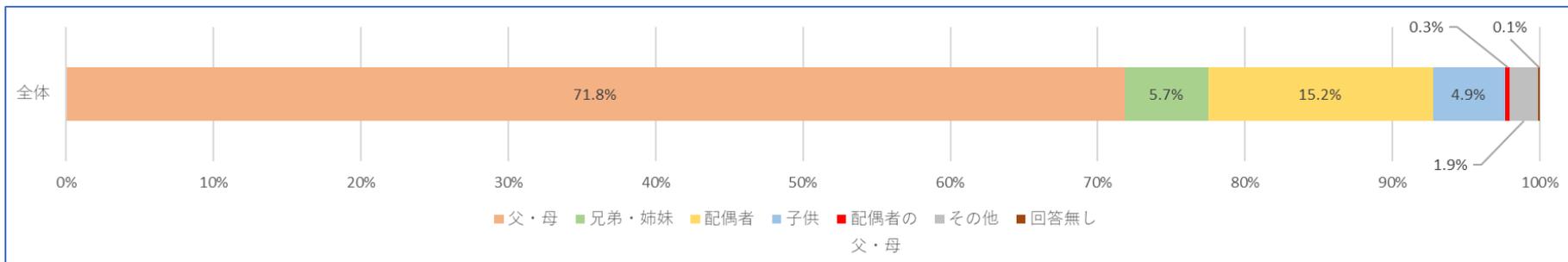
Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-1:回答者の続柄)

【設問】Q1-1:交通事故の被害に遭われた方(以下、「被害者」といいます。)とあなた(記載者)との続柄をお聞かせください。

Q1-1	父・母	兄弟・姉妹	配偶者	子供	配偶者の父・母	その他	回答無し	合計
全体	632	50	134	43	3	17	1	880
	71.8%	5.7%	15.2%	4.9%	0.3%	1.9%	0.1%	100.0%

その他の回答: 成年後見人:8件、本人:3件、保佐人:2件、祖父母:1件、伯母:1件、支援者:1件、同居人:1件



回答者の続柄は、全体では父・母が7割、配偶者が1割強を占めている。

兄弟・姉妹及び子供は5%前後である。

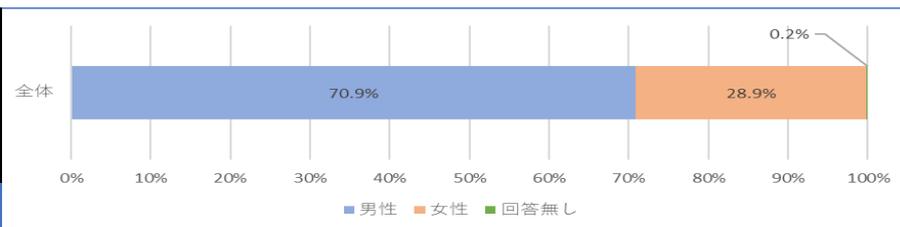
その他の続柄としては、成年後見人が8人で、本人が回答したものも3件ある。

Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-2:被害者の性別、Q1-3被害者の年齢)

【設問】Q1-2:被害者の性別をお聞かせください。

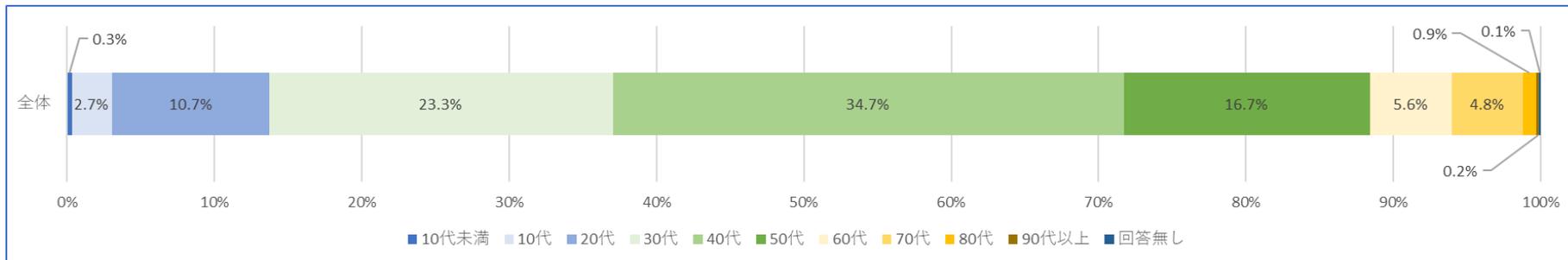
Q1-2	男性	女性	回答無し	合計
全体	624	254	2	880
	70.9%	28.9%	0.2%	100.0%



Q1-2: 被害者の性別は、7割が男性で、女性は3割である。

【設問】Q1-3:被害者の現在の年齢をお聞かせください。

Q1-3	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	回答無し	合計
全体	3	24	94	205	305	147	49	42	8	2	1	880
	0.3%	2.7%	10.7%	23.3%	34.7%	16.7%	5.6%	4.8%	0.9%	0.2%	0.1%	100.0%



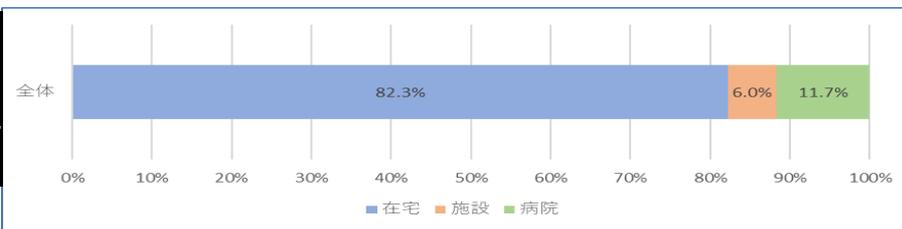
Q1-3: 被害者の年齢(年代)では、多い順に、40代(35%)、30代(23%)、50代(17%)、20代(11%)となっている。60代以上の高齢者は101人と1割を占めている。

Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-4:居住地)

【設問】Q1-4:被害者はどちらに居住されていますか。

Q1-4	在宅	施設	病院	合計
全体	724	53	103	880
	82.3%	6.0%	11.7%	100.0%



Q1-4: 被害者の居住地は、在宅が82%、施設が6%、病院が12%である。

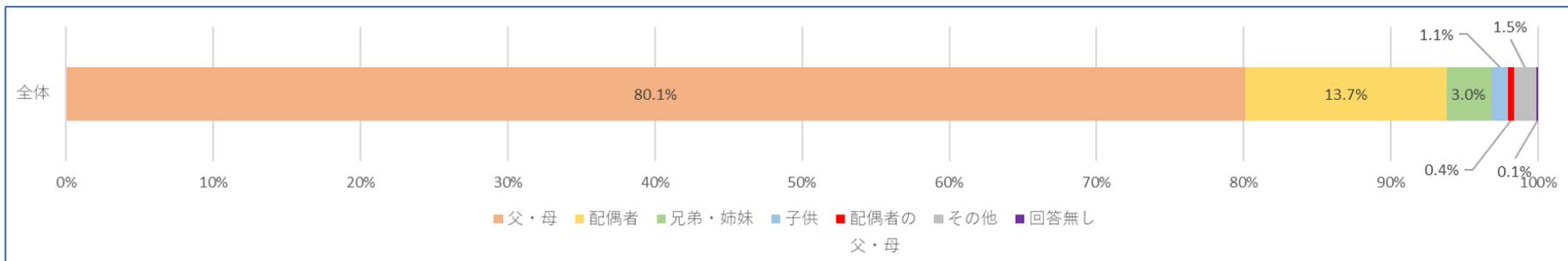
Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-5在宅での主介護者)

【設問】Q1-5:Q1-4で「在宅」と答えた場合、被害者を普段介護している方はどなたですか。

Q1-5	父・母	配偶者	兄弟・姉妹	子供	配偶者の 父・母	その他	回答無し	合計
全体	580	99	22	8	3	11	1	724
	80.1%	13.7%	3.0%	1.1%	0.4%	1.5%	0.1%	100.0%

その他の回答： 成年後見人：8件、本人：3件、保佐人：2件、祖父母：1件、伯母：1件、支援者：1件、同居人：1件



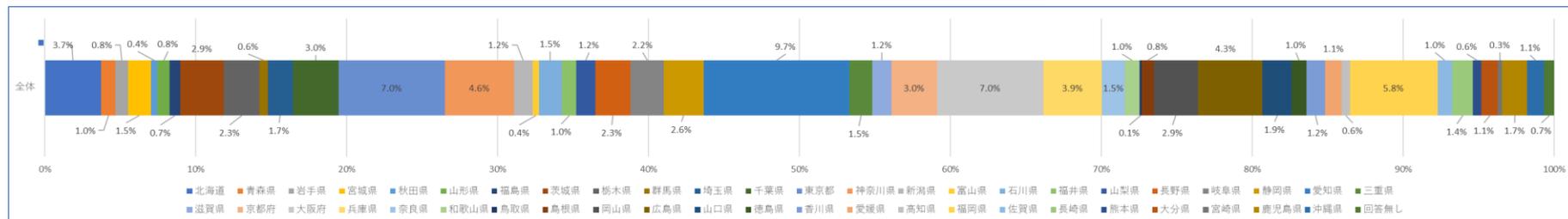
Q1-5: 在宅居住者724人の主たる介護者は、父・母80%、配偶者14%、兄弟・姉妹3%、子供1%である。

Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-6:被害者の住所地)

【設問】Q1-6:被害者の現在のお住まいはどちらですか。

Q1-6	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
	27	7	6	11	3	6	5	21	17	4	12	22	51
	3.7%	1.0%	0.8%	1.5%	0.4%	0.8%	0.7%	2.9%	2.3%	0.6%	1.7%	3.0%	7.0%
	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府
	33	9	3	11	7	9	17	16	19	70	11	9	22
4.6%	1.2%	0.4%	1.5%	1.0%	1.2%	2.3%	2.2%	2.6%	9.7%	1.5%	1.2%	3.0%	
全体	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
	51	28	11	7	1	6	21	31	14	7	9	8	4
	7.0%	3.9%	1.5%	1.0%	0.1%	0.8%	2.9%	4.3%	1.9%	1.0%	1.2%	1.1%	0.6%
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	回答無し	合計			
	42	7	10	4	8	2	12	8	5	724			
5.8%	1.0%	1.4%	0.6%	1.1%	0.3%	1.7%	1.1%	0.7%	100%				



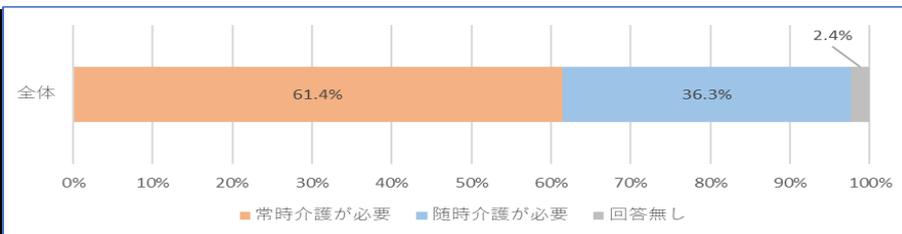
Q1-6: 回答が多かった被害者の居住地(都道府)は、愛知県70件(10%)、東京都及び大阪府51件(7%)、福岡県42件(6%)、神奈川県33件(5%)、広島県31件(4%)となっている。

Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-7:介護状態、Q1-8介護料受給状況)

【設問】Q1-7:被害者は常時介護を必要とされる状態ですか。

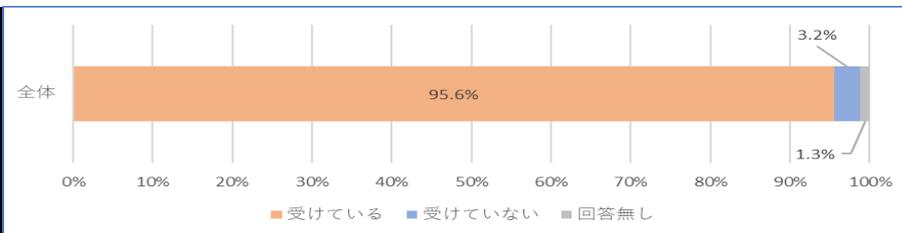
Q1-7	常時介護が必要	随時介護が必要	回答無し	合計
全体	540	319	21	880
	61.4%	36.3%	2.4%	100.0%



Q1-7: 被害者の介護状態は、『常時介護が必要』540件(61%)、『随時介護が必要』319件(36%)だった。

【設問】Q1-8:NASVAの介護料を受給されていますか。

Q1-8	受けている	受けていない	回答無し	合計
全体	841	28	11	880
	95.6%	3.2%	1.3%	100.0%



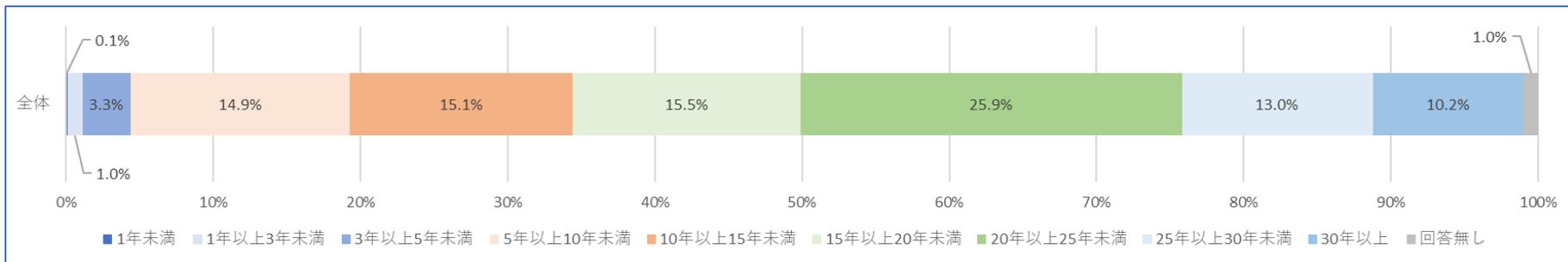
Q1-8: 介護料の需給を受けているかは、『受けている』841件(96%)、『受けていない』28件(3%)だった。

Ⅱ. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-9:交通事故からの経過年数)

【設問】Q1-9: 障害を受傷することとなった交通事故からの経過年数についてお聞かせください。

Q1-9	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	回答無し	合計
全体	1	9	29	131	133	136	228	114	90	9	880
	0.1%	1.0%	3.3%	14.9%	15.1%	15.5%	25.9%	13.0%	10.2%	1.0%	100.0%



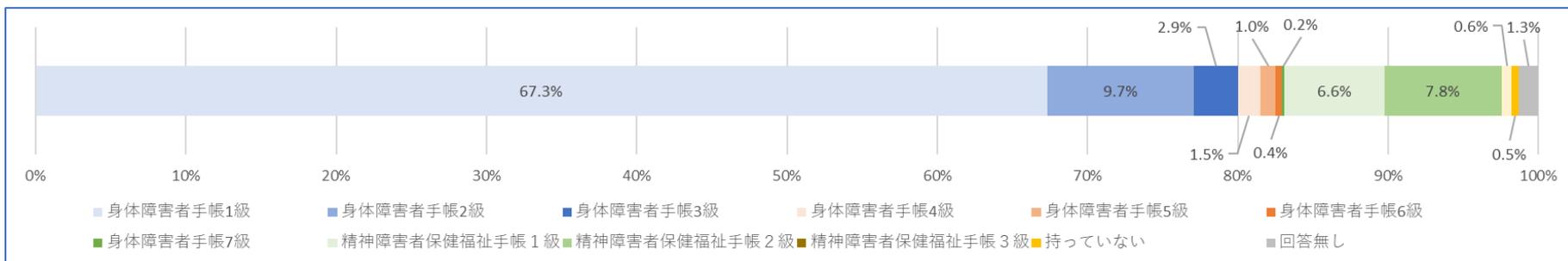
Q1-9: 交通事故からの経過年数は、多いものから順に、『20年以上25年未満』228件(26%)、『15年以上20年未満』136件(16%)、『10年以上15年未満』133件(15%)、『5年以上10年未満』131件(15%)だった。『30年以上』との回答も90件(1%)あった。

II. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-10:障害者等級)

【設問】Q1-10:障害者手帳をお持ちであれば、次のいずれに該当されますか。

Q1-10	身体障害者 手帳1級	身体障害者 手帳2級	身体障害者 手帳3級	身体障害者 手帳4級	身体障害者 手帳5級	身体障害者 手帳6級	身体障害者 手帳7級	精神障害者 保健福祉手 帳1級	精神障害者 保健福祉手 帳2級	精神障害者 保健福祉手 帳3級	持っていな い	回答無し	合計 (複数回答)
全体	670	97	29	15	10	4	2	66	78	6	5	13	995
	67.3%	9.7%	2.9%	1.5%	1.0%	0.4%	0.2%	6.6%	7.8%	0.6%	0.5%	1.3%	100.0%



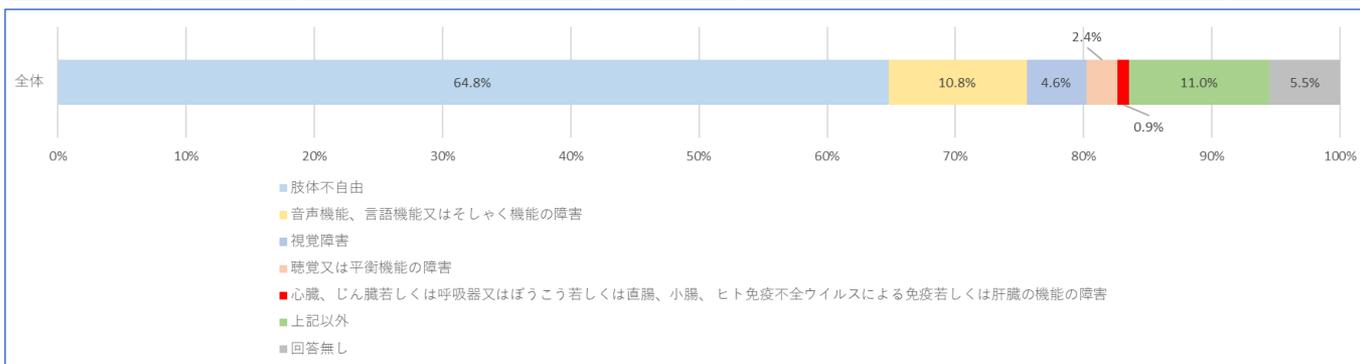
Q1-10: 被害者の障害者手帳による障害者等級は、身体障害と精神障害の複数を持っているとの回答があった。身体障害では、多いものから順に、『1級』670件(67%)、『2級』97件(10%)、『3級』29件(3%)と、重度の身体障害が多くなっている。精神障害では、『2級』が最も多く78件(8%)、次いで『1級』が66件(7%)となっている。

II. 集計結果

1. 自動車事故被害者の介護状況(Q1-11:障害者手帳に記載された障害)

【設問】 Q1-11: Q1-10で「身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。
身体障害者手帳に記載された障害は、次のいずれに該当しますか。

Q1-11	肢体不自由	音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害	視覚障害	聴覚又は平衡機能の障害	心臓、じん臓若しくは呼吸器又はぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫若しくは肝臓の機能の障害	上記以外	回答無し	合計 (複数回答)
全体	697	116	50	26	10	118	59	1,076
	64.8%	10.8%	4.6%	2.4%	0.9%	11.0%	5.5%	100.0%



Q1-11: 被害者の障害者手帳に記載された障害は、全体で1,076件の回答があり、多いものから順に『肢体不自由』697件(65%)、『音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害』116件(10%)となっている。

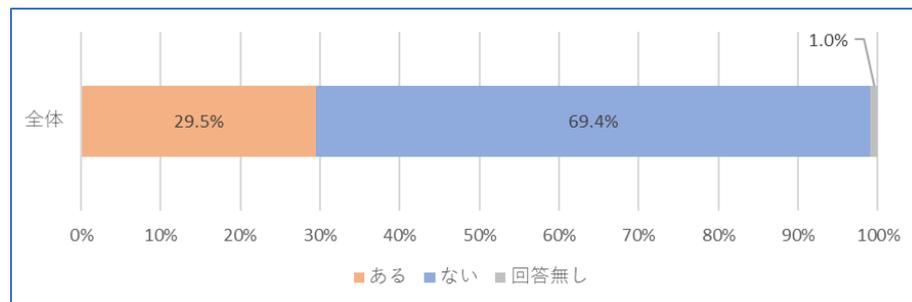
『その他』118件のうち具体的な記述があった37件は、『体幹機能障害』16件、『上下肢機能、四肢機能』11件、『頭部外傷、脳挫傷、脳損傷、低酸素脳症等』6件、『てんかん発作』1件、『高次脳機能』1件等である。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-1:療護センターまたは委託病床への長期入院経験)

【設問】 Q2-1: NASVAが運営する療護センター又はNASVA委託病床に入所したことがありますか。

Q2-1	ある	ない	回答無し	合計
全体	260	611	9	880
	29.5%	69.4%	1.0%	100.0%



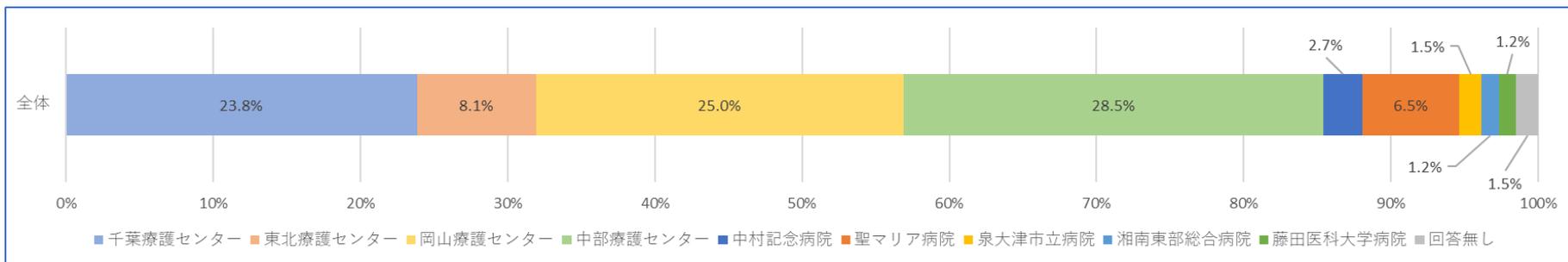
Q2-1: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床へ長期入院した経験については、『ある』は260件(30%)、『ない』は611件(69%)であった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-2:長期入院した療護センターまたは委託病床)

【設問】 Q2-2: どちらのNASVA療護センター又はNASVA委託病床に入所されていましたか？または入所中ですか。

Q2-2	千葉療護センター	東北療護センター	岡山療護センター	中部療護センター			
全体	62	23.8%	21	8.1%	65	25.0%	
	中村記念病院		聖マリア病院		泉大津市立病院		
	7	2.7%	17	6.5%	4	1.5%	
	藤田医科大学病院		金沢脳神経外科病院		松山市民病院		
	3	1.2%			回答無し	4	1.5%
					合計	260	100.0%



Q2-2: Q2-1で入所経験があると回答した26名の入院先は、多いものから順に、『中部療護センター』74件(29%)、『岡山療護センター』65件(25%)、『千葉療護センター』62件(24%)、『東北療護センター』21件(8%)で、4療護センター合計では全体の85%となっている。

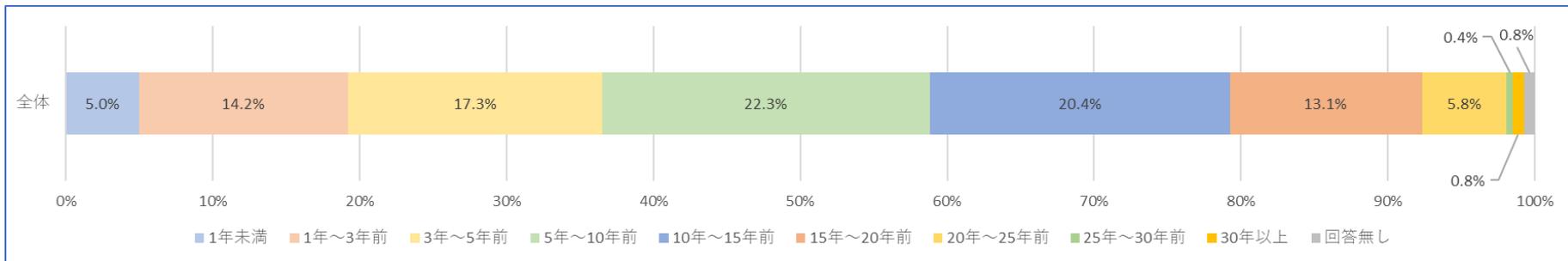
委託病床で最も多いものは『聖マリア病院』17件(7%)で、次いで『中村記念病院』7件(3%)であった。『金沢脳神経外科病院』、『松山市民病院』は回答が無かった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-3:長期入院していた時期)

【設問】 Q2-3: NASVA療護センター又はNASVA委託病床にいつ頃に入所されていましたか。

Q2-3	1年未満	1年～3年前	3年～5年前	5年～10年前	10年～15年前	15年～20年前	20年～25年前	25年～30年前	30年以上	回答無し	合計
全体	13	37	45	58	53	34	15	1	2	2	260
	5.0%	14.2%	17.3%	22.3%	20.4%	13.1%	5.8%	0.4%	0.8%	0.8%	100.0%



Q2-3: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床に長期入院していた時期は、多いものから順に、『5年～10年前』58件(22%)、『10年～15年前』53件(20%)、『3年～5年前』45件(17%)で、15年前から1年未満までの回答は全体の8割を占めている。

15年以上前に利用された方は全体の2割だが、その内訳は、『15年～20年前』34件(13%)、『20年～25年前』15件(6%)、『25年～30年前』1件(0.4%)、『30年以上』2件(0.8%)であった。

II. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-4:良かった点)

【設問】Q2-4: 治療・看護を受けて、良かったところは何ですか。
また、悪かったところや改善すべきところなどがあれば、お聞かせください。(回答自由記載)

Q2-4 良かった点	回答数	該当する内容(複数回答)								合計
		看護・ 介護	リハビリ	診療	家族サポ ート	設備・ 環境	職員全体	MSW	その他	
全体	199	110	49	35	34	24	17	4	21	294
		37.4%	16.7%	11.9%	11.6%	8.2%	5.8%	1.4%	7.1%	100.0%
千葉療護センター	50	37	8	11	10	7	4	2	2	81
東北療護センター	16	7	4	4	1	1	3	1	2	23
岡山療護センター	48	31	7	10	7	5	3		2	65
中部療護センター	59	17	20	8	11	6	7	1	13	83
中村記念病院	6	5	3	2		1				11
聖マリア病院	12	8	5		2	4				19
泉大津市立病院	2	1			2					3
湘南東部総合病院	3	3			1					4
藤田医科大学病院	3	1	2						2	5

※ 左表は、Q2-4<良かった点>の回答(自由記載)199件の内容を、該当する項目別に集計したもの。
尚、1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

Q2-4: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床に長期入院して良かった点(自由記載)は、199件の回答があり、多いものから順に、『看護・介護』110件(37%)、『リハビリ』49件(17%)、『診療』35件(12%)、『家族サポート』34件(12%)となっている。

中部療護センターは他の3療護センターと異なり、『リハビリ』が『看護・介護』よりも多くなっている。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-4:良かった点)

Q2-4: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床に長期入院して良かった点について、項目別の主なご意見(抜粋)は以下の通り。

<千葉療護センター>

○担当の方が決まっていて、夫の回復のために一丸となって治療にあたって下さったこと。コロナの中にあっても、家族が電話や面会ができる様、配慮がありました。MSWIには、入院中のことのみならず、弁護士や退所後の福祉サービスについて色々とアドバイスを頂いたこと。

○面会に行くとき現在の様子等詳しく説明してくれるのが良かった。数か月に1度、担当Dr、Ns、MSW、栄養士等の医療チームとの面談があり、家族の要望や希望を聞いてくれたり、説明をしっかりとってくれて、良かった。素晴らしい病院でした。良く見てもらいました。私も看護師として色々な病院で働いてきたけれど、ダントツで良い病院だと思う。

<東北療護センター>

○看護師たちが一生懸命に介護をしてくれて、息子は笑うことができるようになった。また在宅での介護のやり方等教えて頂き、大変助かりました。

<岡山療護センター>

○毎日身体を動かしたり、歯磨きをしてくれたり、体を清潔に保つなど。刺激を与えてもらったり、話しかけてもらったりしたこと。ワンフロアで他の患者達とも一緒だったこと。車いすに乗せてもらって散歩できたこと。

○細かい看護ケアをしてもらえたこと、そこでしか受けられない治療やリハビリを受けられたこと、回復を信じて患者に接してくれたことが良かった。

<中部療護センター>

○看護師が多く、看護が行き届いていると感じました。リハビリの種類も多様で、職員の方々に感謝しています。他の入院されている方との会話、同じような境遇の方とのふれあいもできたので勇気をもらいました。MSWIにもとても親身になってもらいました。

<中村記念病院>

○専任スタッフによるきめ細かい看護。自室に近い環境の病室での治療。優れた医師による適切な治療。

<聖マリア病院>

○季節ごとにベッド位置の変更があり、刺激を多少与えられたと思う。また、プライマリーやセカンダリーナースがいてくれたからこそ、手厚く介護を受けることもできた。在宅になることへの不安も解消された。

II. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-4:悪かった点、改善すべき点)

【設問】Q2-4:治療・看護を受けて、良かったところは何ですか。
また、悪かったところや改善すべきところなどがあれば、お聞かせください。(回答自由記載)

Q2-4 悪かった点、 改善すべき点	回答数	該当する内容(複数回答)										合計
		リハビリ	看護・ 介護	入院期間	診療	家族サポ- ト	その他 職員	設備・ 環境	MSW	その他	特に無し	
全体	116	29	18	10	8	7	3	2	1	15	34	127
		22.8%	14.2%	7.9%	6.3%	5.5%	2.4%	1.6%	0.8%	11.8%	26.8%	100.0%
千葉療護センター	30	9	3	4	1		1	2		1	11	32
東北療護センター	14	7	2	1		3			1	2		16
岡山療護センター	29	6	5	2	5	1	1			6	7	33
中部療護センター	28	3	5	3	1	2				4	12	30
中村記念病院	4		1								3	4
聖マリア病院	6	3	1			1	1					6
泉大津市立病院	2		1								1	2
湘南東部総合病院	1	1			1							2
藤田医科大学病院	2									2		2

※ 左表は、Q2-3<悪かった点、改善すべき点>の回答(自由記載)116件の内容を、該当する項目別に集計したものの。尚、1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

Q2-4: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床に長期入院して悪かった点、改善すべき点(自由記載)は、116件の回答があり、多いものから順に、『リハビリ』29件(23%)、『看護・介護』18件(14%)、『入院期間』10件(8%)となっている。

岡山療護センターでは『リハビリ』、『診療』、『看護・介護』がほぼ同数で、中部療護センターでは『看護・介護』が多かった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-4:悪かった点)

Q2-4: NASVA療護センターまたはNASVA委託病床に長期入院して悪かった点、改善すべき点について、項目別の主なご意見(抜粋)は以下の通り。

<千葉療護センター>

○時間について決まりごとがあるのかもしれませんが、リハビリをもっと受けられたら良かったと思います。(入院時期: 1~3年前)
○理学療法士は2人しかいなくて、リハビリは特定の人を対象としていることが多く、患者全員に行ってほしいと思っています。(現在はかなり増員している様で、良い方向に向かっていると思います)。(入院時期: 10~15年前)

<東北療護センター>

○月に2回ほどしか面会できなかったので、行ったときには状態変化の有無や直近の様子等を聞かせてもらいたかったが、看護師に声をかけられないこともあったので、受け持ち看護師、もしくは当日担当の看護師に説明してもらえるようにしてほしい。(入院時期: 1~3年前)

○連休、その他正月休みになるとリハビリは休みになるので、1週間もリハビリ無しの時があった。言語聴覚のリハビリは1回も無く、あれば良かったと思います。(入院時期: 回答無し)

<岡山療護センター>

○回復が見られないとのことで、リハビリを進めてもらえなかった。周りの同じ状態の方のお母さんも同じことを言われた。退院に向けて何も教えてもらえなかった。看護師、気に入らなければ態度にでる。(入院時期: 5~10年前)

○入院していた時はリハビリの先生が少なく、リハビリが少なかった。(入院時期: 10~15年前)

<中部療護センター>

○リハビリがちょっと物足りない気がしました。(入院時期: 1年未満)

○車いすに座っている時間が短すぎた。車いすが体に合ってなさすぎて、ひどい側弯になった。(入院時期: 1~3年前)

<聖マリア病院>

○プライマリーが良く分からなかった。反応の良い患者には手厚かった。リハビリはあまり良いリハビリとは言えなかった。スタッフのやる気がある人は多いけれど差がありすぎた。(入院時期: 10~15年前)

<湘南東部総合病院>

○入院当時、まだNASVA委託病床ができて半年くらいだったので、看護師たちも遷延性意識障害についての知識が浅く、入院患者の家族のほうが知識が多く温度差を感じた。千葉療護センター等のようにもっと色々な治療、リハビリをしてほしかった。

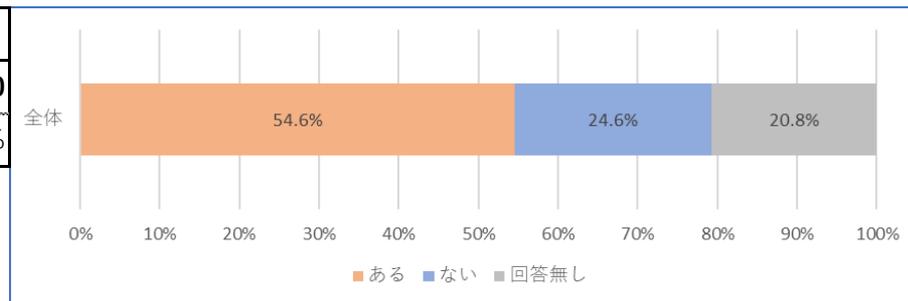
(入院時期: 1~3年前)

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-5:取り組んでもらいたいこと)

【設問】 Q2-5:過去に受けた、または現在受けている治療・看護とは別に、NASVA療護センターで新たに取り組んでもらいたいことはありますか。

Q2-5	ある	ない	回答無し	合計
全体	142	64	54	260
	54.6%	24.6%	20.8%	100.0%



Q2-5: 新たに取り組んでほしいことについては、260件の回答のうち、『新たに取り組んでほしいものがある』142件(55%)、『新たに取り組んでほしいものはない』64件(25%)であった。

II. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-6:Q2-5の理由)

【設問】Q2-6:Q2-5で「ある」と回答された方にお聞きします。「ある」と回答された理由をお聞かせください。(回答自由記載)

Q2-6 「ある」と回答した理由	回答数	該当する内容(複数回答)						合計
		リハビリ	家族サポート	診療	入院期間	看護・介護	その他	
全体	61	20	11	7	4	3	22	67
		29.9%	16.4%	10.4%	6.0%	4.5%	32.8%	100.0%
千葉療護センター	18	4	3	2	3	1	7	20
東北療護センター	6	2					4	6
岡山療護センター	14	8	3	1	1	1	2	16
中部療護センター	17	5	5	2			6	18
中村記念病院	1			1				1
聖マリア病院	4	1		1		1	2	5
藤田医科大学病院	1						1	1

※ 左表は、Q2-5で『ある』と回答した142人から回答(自由記載)61件の内容を、該当する項目別に集計したもの。尚、1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

Q2-6: Q2-5で『新たに取り組んでもらいたいことがある』と回答した142人中、具体的な内容の記述は61件で、多いものから順に、『リハビリ』20件(30%)、『家族サポート』11件(16%)、『診療』7件(10%)、『入院期間』4件(6%)、『看護・介護』3件(5%)であった。

泉大津市立病院、湘南東部総合病院については、具体的な記述はなかった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-4:悪かった点)

Q2-6:『新たに取り組んでもらいたいことがある』と回答した142人の中で、具体的な内容の記述があった61件の中から、項目別の主なご意見(抜粋)は以下の通り。

<千葉療護センター>

○プライマリーナーシングも大事だが、チームナーシングも必要。問題点をチームで話し合っ解決して欲しい。リハビリとの連携もあまりないので、在宅へ、退院に向けて病棟のスタッフもできるだけリハビリをしてほしい。トランスやトイレトレーニング等。トランスも慣れていない人が多く車いすに中々乗れないこともあるので。(入院時期: 1年未満)

○事故にあつての外傷で、脳の損傷の他に整形外科の医師が関わる治療もあると思いますので、整形外科医も病院にいてほしいです。(入院時期: 1~3年前)

○退所した家族にも在宅看護の指導、災害時の看護方法等の情報提供。(入院時期: 5~10年前)

<東北療護センター>

○リハビリを確実にやってほしい。優先的にやる人とそうでない人がいたので、家族がいるときだけでなく、大勢の方にやって頂きたいと思います。(入院時期: 回答無し)

<岡山療護センター>

○ワンハンド車いすの練習。(入院時期: 1~3年前)

○回復に向けての思いが、あまりにも家族と温度差がありすぎる。それによって回復のタイミングを逃したりしている可能性があるかもしれないことを医療スタッフ、リハビリスタッフ全員で今一度、意識改革に取り組んでほしい。(入院時期: 3~5年前)

<中部療護センター>

○介護に必要な技術を学ぶために、定期的に講習会を開いてほしい。(入院時期: 3~5年前)

○退院後の社会復帰する場所やその後のフォロー。在宅でも何かできることが無いのか、提案して頂けると助かります。(入院時期: 5~10年前)

<中村記念病院>

○先進医療、再生医療等の積極的な導入。(入院時期: 10~15年前)

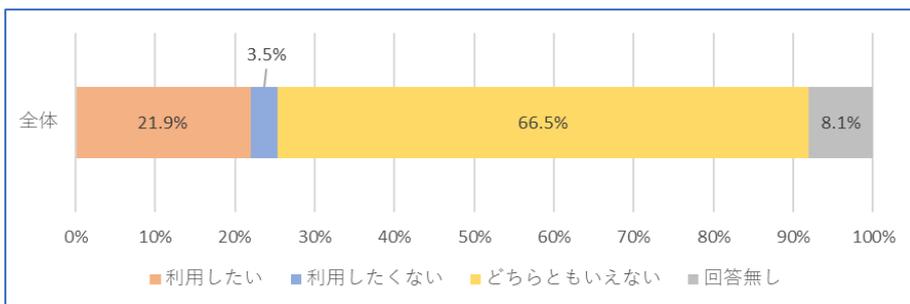
尚、回答の中には、短期入院や施設数の増大についての要望も見受けられた。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-7:男女別の病床の利用)

【設問】 Q2-7: NASVA療護センターに男女別の病床があれば、利用したいですか？

Q2-7	利用したい	利用したくない	どちらとも いえない	回答無し	合計
全体	57	9	173	21	260
	21.9%	3.5%	66.5%	8.1%	100.0%



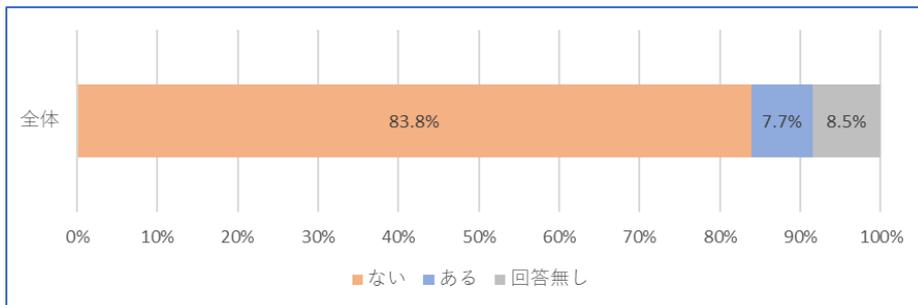
Q2-7: NASVA療護センターに男女別の病床があれば利用したいかは、『利用したい』57件(22%)、『利用したくない』は9件(4%)、『どちらともいえない』は173件(67%)であった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について (Q2-8:ワンフロア病棟システムで気になっている点)

【設問】 Q2-8:NASVA療護センターはワンフロア病棟システムについて、気になっているところがあれば、お聞かせください。

Q2-8	ない	ある	回答無し	合計
全体	218	20	22	260
	83.8%	7.7%	8.5%	100.0%



Q2-8: ワンフロア病棟システムで気になっている点があるかについては、『ない』218件(84%)、『ある』20件(8%)、『回答無し』22件(9%)であった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-9:Q2-8の理由)

【設問】Q2-9:Q2-8で「ある」と回答された方にお聞きします。「ある」と回答された理由をお聞かせください。(回答自由記載)

Q2-9 気になっている点	回答数	該当する内容 (複数回答)							合計
		感染対策	看護・ 介護	プライバ シー	患者の声や 臭気等	他家族との 関係等	評価する	その他	
全体	16	4	3	2	2	2	2	1	16
		25.0%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	100.0%
千葉療護センター	3	1			1		1		3
東北療護センター	2		2						2
岡山療護センター	2	1	1						2
中部療護センター	7			2	1	2	1	1	7
中村記念病院	1	1							1
泉大津市立病院	1	1							1

※ 左表は、Q2-58『ある』と回答した218人から回答(自由記載)16件の内容を、該当する項目別に集計したもの。尚、1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

**Q2-9: Q2-8で『ワンフロア病棟システムで気になっている点がある』と回答した218中、具体的な記述があったものは16件で、多いものから順に、『感染対策』4件(25%)、『看護・介護』3件(19%)、『プライバシー』、『患者の声や臭気等』、『他の家族との関係等』各2件(13%)であった。
ワンフロア病棟システムは良いと評価する回答が2件(13%)あった。**

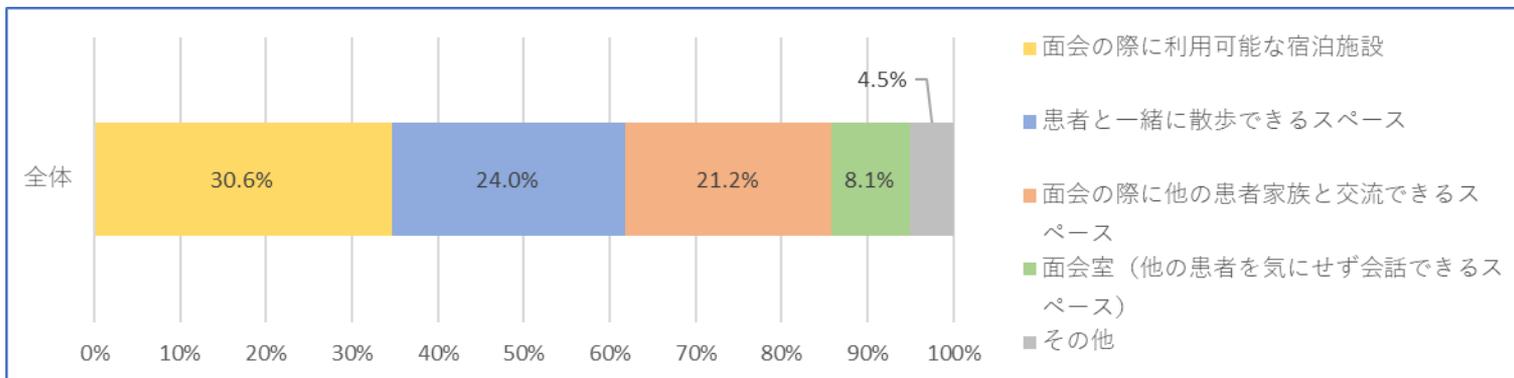
聖マリア病院、湘南東部総合病院、藤田医科大学については、具体的な記述はなかった。

Ⅱ. 集計結果

2. NASVA療護センター等の利用状況について(Q2-10:必要な施設)

【設問】Q2-10: NASVA療護センターに必要な施設について、お聞かせください。

Q2-10	面会の際に利用可能な宿泊施設	患者と一緒に散歩できるスペース	面会の際に他の患者家族と交流できるスペース	面会室（他の患者を気にせず会話できるスペース）	その他	合計 (複数回答)
全体	121	95	84	78	18	396
	30.6%	24.0%	21.2%	19.7%	4.5%	100.0%



Q2-10: 療護センターに必要な施設については396件の回答があり、多いものから順に、『面会の際に利用可能な宿泊施設』121件(31%)、『患者と一緒に散歩できるスペース』95件(24%)、『面会の際に他の患者家族と交流できるスペース』84件(21%)、『面会室(他の患者を気にせず会話できるスペース)』78件(20%)となっている。

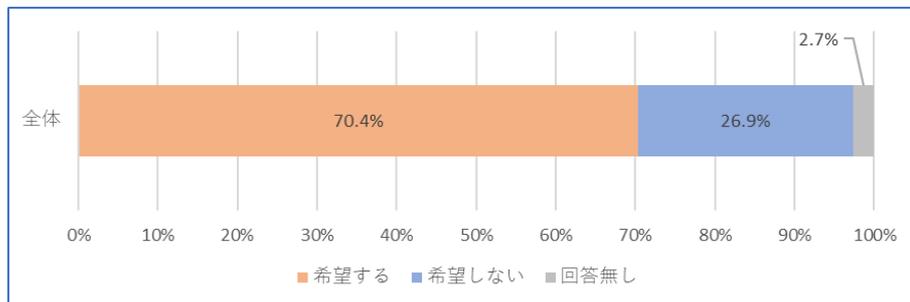
その他の回答では、『食堂、売店、喫茶コーナー等』、『休憩場所、面会スペース、家族控室等』が各5件等であった。

Ⅱ. 集計結果

3. 療護センター退院後に、療護センターを再び利用する際の要望について (Q3-1:再び入院しリハビリを受けられる場合の入院希望)

【設問】 Q3-1:NASVA療護センター退院後に再度、療護センターで一時的に入院し、リハビリが受けられるとすれば、入院を希望するかお聞かせください。

Q3-1	希望する	希望しない	回答無し	合計
全体	183	70	7	260
	70.4%	26.9%	2.7%	100.0%



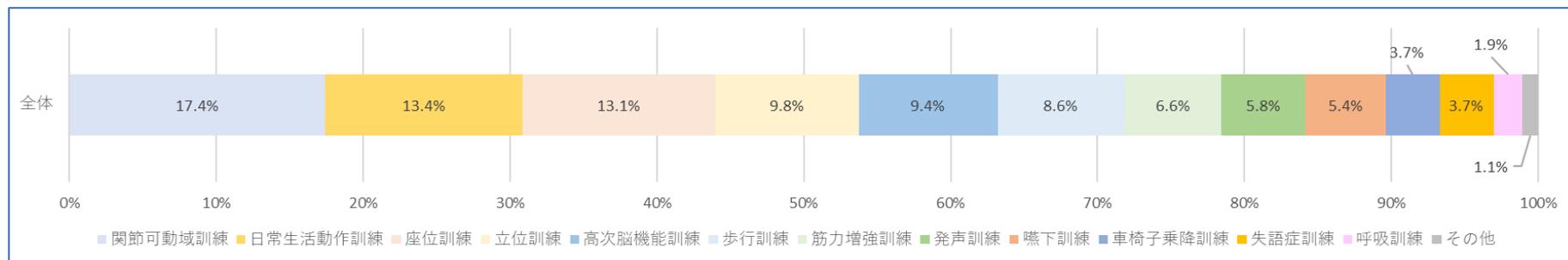
Q3-1: 『希望する』183件(70%)、『希望しない』70件(27%)、7件(3%)は回答が無かった。

Ⅱ. 集計結果

3. 療護センター退院後に、療護センターを再び利用する際の要望について (Q3-2:入院した際に希望するリハビリのメニュー)

【設問】 Q3-2:入院した際に希望するリハビリについて、お聞かせください。

Q3-2	関節可動域 訓練	日常生活動 作訓練	座位訓練	立位訓練	高次脳機能 訓練	歩行訓練	筋力増強訓 練	発声訓練	嚥下訓練	車椅子乗降 訓練	失語症訓練	呼吸訓練	その他	合計 (複数回答)
全体	109	84	82	61	59	54	41	36	34	23	23	12	7	625
	17.4%	13.4%	13.1%	9.8%	9.4%	8.6%	6.6%	5.8%	5.4%	3.7%	3.7%	1.9%	1.1%	100.0%



Q3-2: 再び一時的に入院した際に希望するリハビリについては、多いものから順に、『間接可動域訓練』109件(17%)、『日常生活動作訓練』84件(13%)、『座位訓練』82件(13%)となっている。

身体的リハビリは要望が高く、他にも『立位訓練』61件(10%)、『歩行訓練』61件(9%)、『筋力増強訓練』41件(7%)等があり、さらに『発声訓練』、『嚥下訓練』、『呼吸訓練』等のST分野でも要望がある。

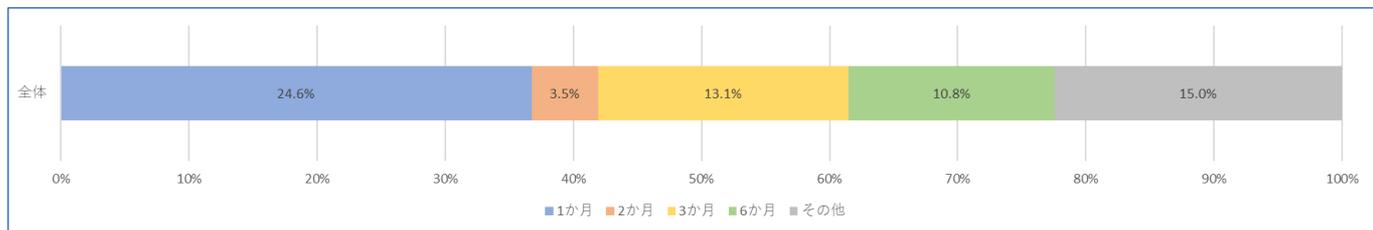
『高次脳機能訓練』は59件(9%)と、要望の多さでは5番目になっている。

Ⅱ. 集計結果

3. 療護センター退院後に、療護センターを再び利用する際の要望について (Q3-3:希望する入院期間)

【設問】 Q3-3:希望する入院期間について、お聞かせください。

Q3-3	1か月	2か月	3か月	6か月	その他	回答無し	合計
全体	64	9	34	28	39	86	260
	24.6%	3.5%	13.1%	10.8%	15.0%	33.1%	100.0%



『その他』39件のうち
具体的な記載のあった30件

出来るだけ長く	9件
目途が付くまで	3件
全治近くまで	1件
回復の可能性のある限り	1件
6～12か月	1件
1年	5件
1年以上	1件
3年位	1件
5年位	1件
1～2週間程度	4件
数週間	1件
今のままでよい	1件
分からない	1件

Q3-3: 再び一時的に入院する際に希望する入院期間は、多いものから順に、『1か月』64件(25%)、『3か月』34件(13%)、『6か月』28件(11%)、『2か月』9件(4%)であった。

『その他』の回答39件(15%)のうち具体的に記載のあったものは30件で、

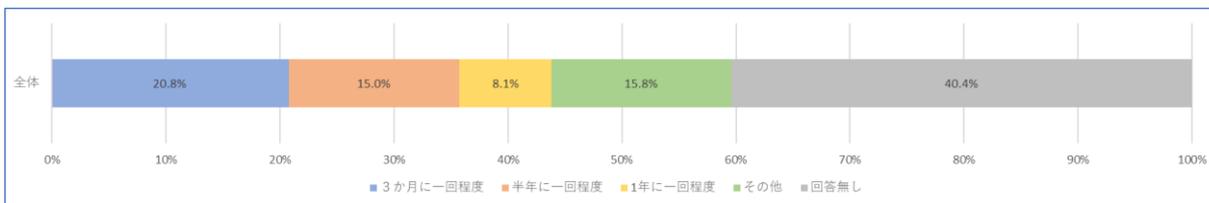
『出来るだけ長く』等、無期限の希望が14件、『6か月以上の年単位』の希望が9件、『1週間～数週間』の希望が5件等となっている。

Ⅱ. 集計結果

3. 療護センター退院後に、療護センターを再び利用する際の要望について (Q3-4:希望するリハビリの受療頻度)

【設問】 Q3-4:在宅復帰後のリハビリをどの位の頻度で受けたいか、お聞かせください。

Q3-4	3か月に一回程度	半年に一回程度	1年に一回程度	その他	回答無し	合計
全体	54	39	21	41	105	260
	20.8%	15.0%	8.1%	15.8%	40.4%	100.0%



『その他』41件のうち
具体的な記載のあった32件

毎日	5件
週3回	8件
週2回	4件
週1回	6件
月3回	1件
月2回	1件
月1回	3件
出来る限り	1件
なるべくなら回数は多いほうが良い	1件
入院期間による	1件
今のところ無し	1件

**Q3-4: 在宅復帰後のリハビリをどのくらいの頻度で受けたいかは、多いものから順に、
『3か月に一回程度』54件(21%)、『半年に一回程度』39件(15%)、『1年に一回程度』21件(8%)であった。**

『その他』の回答41件(16%)のうち具体的に記載のあったものは32件で、

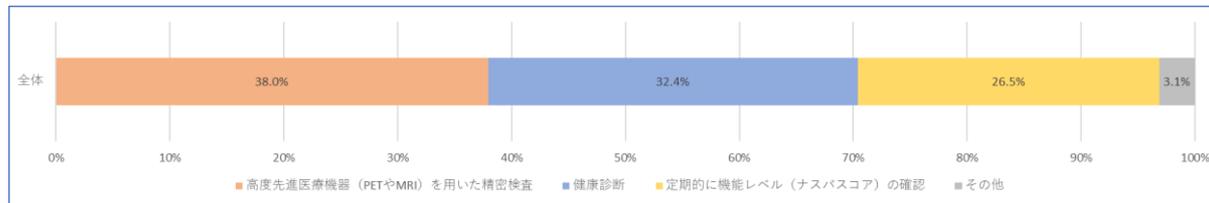
『毎日～週1回』が23件、『月3回～月1回』5件、『出来る限り、多いほうが良い』2件等となっている。

II. 集計結果

3. 療護センター退院後に、療護センターを再び利用する際の要望について (Q3-5:体の状態を把握するために希望するもの)

【設問】 Q3-5:在宅復帰後に体の状態を把握する機会があったとしたら、どのようなことを望まれますか。

Q3-5	高度先進医療機器（PETやMRI）を用いた精密検査	健康診断	定期的に機能レベル（ナスバスコア）の確認	その他	合計 (複数回答)
全体	109	93	76	9	287
	38.0%	32.4%	26.5%	3.1%	100.0%



**Q3-5: 体の状態を把握するために希望するものは、多いものから順に、
『高度先進医療機器（PETやMRI）を用いた精密検査』109件（38%）、
『健康診断』93件（32%）、
『定期的に機能レベル（ナスバスコア）の確認』76件（27%）であった。**

その他の回答では、
○身体機能、認知機能を定期的に診てもらいたい。
○リハビリ的な見地から体の状態をみて頂くこと。
等があった。

II. 集計結果

4. 療護センターの今後のリハビリ等について(Q4-1:希望するリハビリ)

【設問】Q4-1: 今後、NASVA療護センターで1ヶ月程度リハビリを受けられるとしたら、どのようなリハビリを希望しますか。
(回答自由記載)

Q4-1 希望するリハビリ の内容	該当する内容 (複数回答)																			合計
	関節可動域 訓練	歩行訓練	高次脳機能 訓練	立位訓練	言語訓練	筋力増強訓 練	嚥下訓練	日常生活動 作訓練	座位訓練	発声訓練	呼吸訓練	自立のため の訓練	失語症訓練	車いす乗降 訓練	HAL等ロ ボット	バランス訓 練	現状維持	希望しない	その他	
全体	94	64	47	36	30	21	18	15	13	10	7	6	5	4	4	3	2	34	76	489
	19.2%	13.1%	9.6%	7.4%	6.1%	4.3%	3.7%	3.1%	2.7%	2.0%	1.4%	1.2%	1.0%	0.8%	0.8%	0.6%	0.4%	7.0%	15.5%	100.0%

Q4の設問(全3問)は、Q2-1で『入所したことがない』と回答した611人に対する設問である。

Q4-1: 療護センターで1か月程度リハビリを受けられるとしたときに、どのようなリハビリを希望するか(自由記載)は、325件の回答があり、項目別には489件となる。多いものから順に、『間接可動域訓練』94件(19%)、『歩行訓練』64件(13%)、『高次脳機能訓練』47件(10%)となっている。

身体的リハビリは要望が高く、『立位訓練』、『筋力増強訓練』、『座位訓練』の他、『車いす乗降訓練』、『日常生活動作訓練』、さらに『嚥下訓練』、『発声訓練』、『呼吸訓練』等のST分野でも要望がある。

Q2-1で『入所したことがある』と回答した人(260人)と異なり、『入所したことがない』と回答した人(611人)では、

『自立のための訓練』、『HAL等ロボットを用いた訓練』、『バランス訓練』、『現状維持』等も記載されている。

『リハビリを希望しない』も34件あるが、『その他』76件の中には『リハビリなら何でも受けたい』等と記載した方も多い。

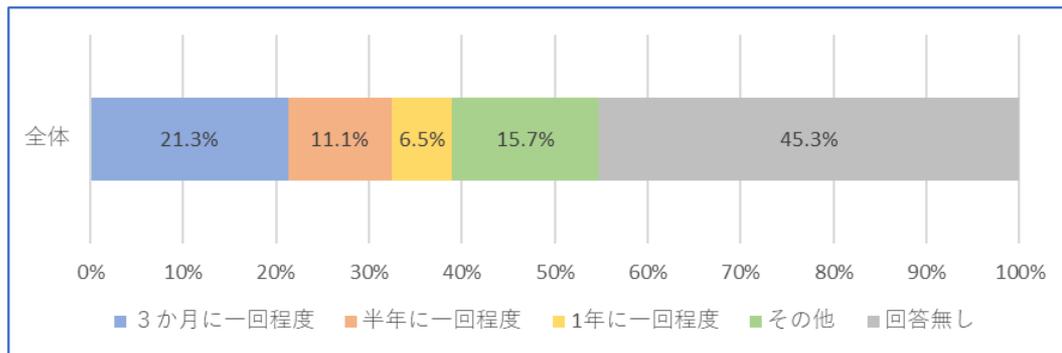
被害者個々の状態に応じた個人毎に種々多様なリハビリが求められていると考えられる

Ⅱ. 集計結果

4. 療護センターの今後のリハビリ等について(Q4-2:リハビリの受療頻度)

【設問】Q4-2:NASVA療護センターでリハビリをどの位の頻度で受けたいかお聞かせください。

Q4-2	3か月に一回程度	半年に一回程度	1年に一回程度	その他	回答無し	合計
全体	130	68	40	96	277	611
	21.3%	11.1%	6.5%	15.7%	45.3%	100.0%



Q4-2: 療護センターでリハビリをどのくらいの頻度で受けたいかは、多いものから順に、『3か月に一回程度』130件(21%)、『半年に一回程度』68件(11%)、『1年に一回程度』40件(7%)であった。

『その他』96件(16%)のうち具体的に記載のあったものは79件で、

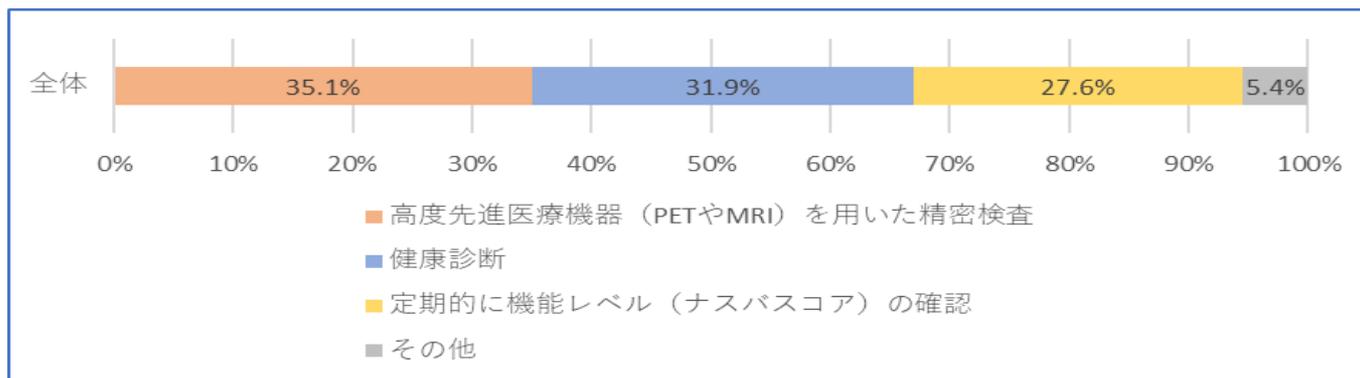
『毎日～週1回』等が13件、『月3回～月1回』が17件、『必要に応じて、本人の状態に応じて』が4件等となっている。

II. 集計結果

4. 療護センターの今後のリハビリ等について (Q4-3:体の状態を把握するために希望するもの)

【設問】 Q4-3: NASVA療護センターで体の状態を把握する機会があったとしたら、どのようなことを望まれますか。

Q4-3	高度先進医療機器（PETやMRI）を用いた精密検査	健康診断	定期的に機能レベル（ナスバスコア）の確認	その他	合計 (複数回答)
全体	174	158	137	27	496
	35.1%	31.9%	27.6%	5.4%	100.0%



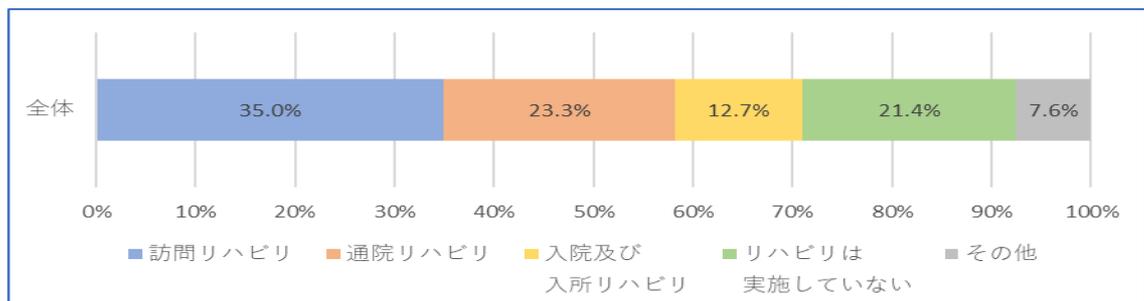
Q4-3: 体の状態を把握するために希望するものは、多いものから順に、『高度先進医療機器(PETやMRI)を用いた精密検査』109件(38%)、『健康診断』93件(32%)、『定期的に機能レベル(ナスバスコア)の確認』76件(27%)であった。

II. 集計結果

5. 現在実施しているリハビリについて(Q5-1:実施しているリハビリの形態)

【設問】Q5-1:現在実施しているリハビリの形態について、お聞かせください。

Q5-1	訪問リハビリ	通院リハビリ	入院及び 入所リハビリ	リハビリは 実施してい ない	その他	合計 (複数回答)
全体	299	199	109	183	65	855
	35.0%	23.3%	12.7%	21.4%	7.6%	100.0%



『その他』65件のうち具体的な記載のあった58件

通所施設でのリハビリ	24件
作業所への通所	4件
自宅で家族等によるリハビリ	13件
マッサージ、鍼灸等	5件
短期入院、ショートステイ時	2件
スポーツジム、学校等	2件
保険診療外(自費)リハビリ	1件
日常生活がリハビリになっている	5件
実質的にリハビリは行っていない	2件

Q5-1: 現在実施しているリハビリの形態は、多いものから順に、『訪問リハビリ』299件(35%)、『通院リハビリ』199件(23%)、『入院および入所リハビリ』109件(13%)であった。『リハビリを実施していない』との回答も183件(21%)あった。

『その他』65件(8%)のうち具体的記載内容58件の項目毎の集計結果は上右表のとおりである。

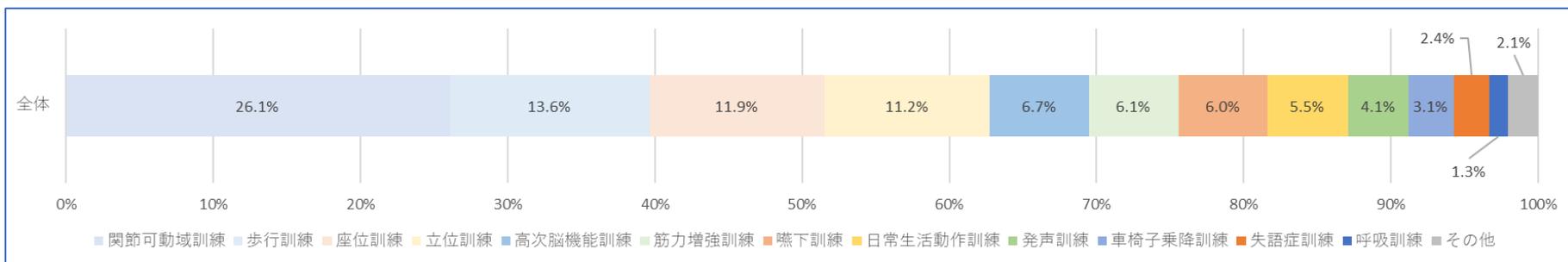
設問では、通院リハビリと通所リハビリとが纏められていないため、その他に『通所施設でのリハビリ』が24件あるが、医療機関等でのリハビリ以外のものも多くあげられている。

Ⅱ. 集計結果

5. 現在実施しているリハビリについて(Q5-2:実施しているリハビリのメニュー)

【設問】Q5-2:現在実施しているリハビリのメニューについて、お聞かせください。

Q5-2	関節可動域訓練	歩行訓練	座位訓練	立位訓練	高次脳機能訓練	筋力増強訓練	嚥下訓練	日常生活動作訓練	発声訓練	車椅子乗降訓練	失語症訓練	呼吸訓練	その他	合計 (複数回答)
全体	381	198	174	164	98	89	88	80	60	45	35	19	30	1,461
	26.1%	13.6%	11.9%	11.2%	6.7%	6.1%	6.0%	5.5%	4.1%	3.1%	2.4%	1.3%	2.1%	100.0%



Q5-2: 現在実施しているリハビリのメニューは、多いものから順に、『間接可動域訓練』381件(26%)、『歩行訓練』198件(14%)、『座位訓練』174件(12%)であった。身体的リハビリの実施割合が高く、『嚥下訓練』、『発声訓練』、『呼吸訓練』等のST分野も実施されている。『高次脳機能訓練』は98件(7%)と実施しているメニューの5番目になっている。

Q3-2(NASVA療護センター退院後に、療護センターを再び入院する際に希望するリハビリ)の回答と比較すると、現在それほど実施していない『日常生活動作訓練』(実施中6%)を、再入院時に希望する人が多くなっている(希望13%)。

Ⅱ. 集計結果

5. 現在実施しているリハビリについて(Q5-2:実施しているリハビリのメニュー)

【設問】Q5-2:現在実施しているリハビリのメニューについて、お聞かせください。

Q5-2	関節可動域 訓練	歩行訓練	座位訓練	立位訓練	高次脳機能 訓練	筋力増強訓 練	嚥下訓練	日常生活動 作訓練	発声訓練	車椅子乗降 訓練	失語症訓練	呼吸訓練	その他	合計 (複数回答)
全体	381 26.1%	198 13.6%	174 11.9%	164 11.2%	98 6.7%	89 6.1%	88 6.0%	80 5.5%	60 4.1%	45 3.1%	35 2.4%	19 1.3%	30 2.1%	1,461 100.0%
身体障害者手帳1級	354	162	167	156	63	76	69	78	55	41	31	19	22	1,293
身体障害者手帳2級	14	25	5	6	15	6	15	1	5	3	2		3	100
身体障害者手帳3級	6	8		1	8	7	1	1		1	1			34
身体障害者手帳4級	3	1		1	3									8
身体障害者手帳5級					2		1						2	5
身体障害者手帳6級					1									1
身体障害者手帳7級														
精神障害者保健福祉手帳1級		1			2		1						2	6
精神障害者保健福祉手帳2級		1			4		1				1		1	8
精神障害者保健福祉手帳3級														
持っていない	1		1											2
回答無し	3		1											4

一方、実施しているリハビリのメニューを障害の程度別にみると、
障害が重い方ほど、多種類のリハビリを実施していることが分かる。
『高次脳機能訓練』は、身体障害の比較的軽い方も実施していることが分かる。

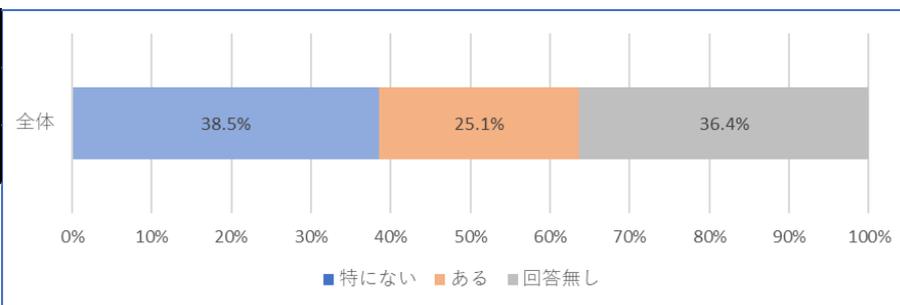
身体障害と精神障害は、複数お持ちの方がいるため、その場合の回答は重複することとなる。

II. 集計結果

5. 現在実施しているリハビリについて(Q5-3:現在のリハビリに望むもの)

【設問】Q5-3:現在のリハビリにおいて望むものについて、お聞かせください。

Q5-3	特にない	ある	回答無し	合計
全体	339	221	320	880
	38.5%	25.1%	36.4%	100.0%



『ある』とした回答(221件)中、具体的な記載があったもの:206件

Q5-3 現在のリハビリ に望むもの	該当する内容(複数回答)																			合計
	回数UP	高次脳機能 訓練	時間UP	立位訓練	嚥下訓練	内容の充実	歩行訓練	発声訓練	関節可動域 訓練	筋力増強訓 練	車いす乗降 訓練	失語症訓練	日常生活動 作訓練	座位訓練	呼吸訓練	HAL等ロ ボット	言語訓練	自立のため の訓練	その他	
全体	30	25	22	14	12	12	8	6	5	5	5	5	4	3	3	3	2	1	76	241
	12.4%	10.4%	9.1%	5.8%	5.0%	5.0%	3.3%	2.5%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	1.7%	1.2%	1.2%	1.2%	0.8%	0.4%	31.5%	100.0%

Q5-3: 現在のリハビリに望むものは、『特にない』339件(39%)、『ある』221件(25%)の回答であった。『ある』221件のうち、具体的記載は206件(複数項目に該当する回答もあり、項目別には241件)であった。多いものから順に、『回数UP』30件(12%)、『高次脳機能訓練』23件(10%)、『時間UP』22件(9%)であった。

『座位訓練』、『立位訓練』、『歩行訓練』、『筋力増強訓練』や『車いす乗降訓練』等の身体的リハビリの他に、

『嚥下訓練』、『発声訓練』、『呼吸訓練』等のST分野も多く望まれている。

また、現在のリハビリに対する内容の充実という希望もあった。

II. 集計結果

5. 現在実施しているリハビリについて(Q5-3:現在のリハビリに望むもの)

【設問】Q5-3:現在のリハビリにおいて望むものについて、お聞かせください。(続き)

『ある』とした回答(221件)中、具体的な記載があったもの:206件

Q5-3 現在のリハビリ に望むもの	該当する内容(複数回答)																			合計	
	回数UP	高次脳機能 訓練	時間UP	立位訓練	嚥下訓練	内容の充実	歩行訓練	発声訓練	関節可動域 訓練	筋力増強訓 練	車いす乗降 訓練	失語症訓練	日常生活動 作訓練	座位訓練	呼吸訓練	HAL等ロ ボット	言語訓練	自立のため の訓練	その他		
全体	30 12.4%	25 10.4%	22 9.1%	14 5.8%	12 5.0%	12 5.0%	8 3.3%	6 2.5%	5 2.1%	5 2.1%	5 2.1%	5 2.1%	4 1.7%	3 1.2%	3 1.2%	3 1.2%	2 0.8%	1 0.4%	76 31.5%	241 100.0%	
身体障害者手帳1級	29	19	21	13	12	12	6	6	5	5	5	5	4	3	3		2			62	214
身体障害者手帳2級	1	2	1	1			2									1				9	17
身体障害者手帳3級		2																		2	4
身体障害者手帳4級																					
身体障害者手帳5級																					
身体障害者手帳6級		1																			1
身体障害者手帳7級																					
精神障害者保健福祉手帳1級		1																1			2
精神障害者保健福祉手帳2級																				2	2
精神障害者保健福祉手帳3級																					
持っていない																					
回答無し																				1	1

一方、現在のリハビリに望むものを障害の程度別にみると、
障害が重い方ほど、多く種類のリハビリを希望していることが分かる。
『高次脳機能訓練』は、身体障害の比較的軽い方も希望していることが分かる。

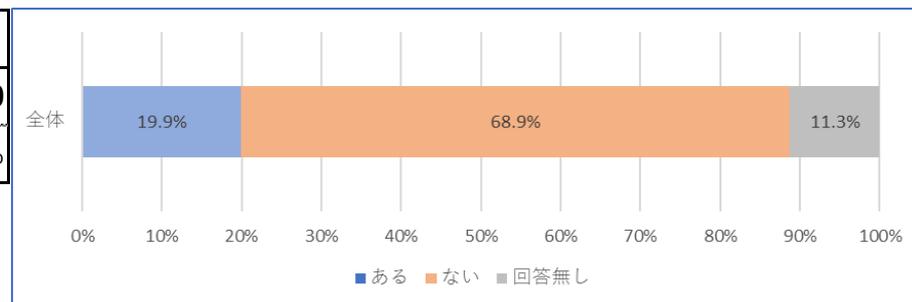
身体障害と精神障害は、複数お持ちの方がいるため、その場合の回答は重複することとなる。

Ⅱ. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-1:短期入院協力病院の利用の有無)

【設問】Q6-1:国土交通省が指定する短期入院協力病院を利用したことがありますか。

Q6-1	ある	ない	回答無し	合計
全体	175	606	99	880
	19.9%	68.9%	11.3%	100.0%



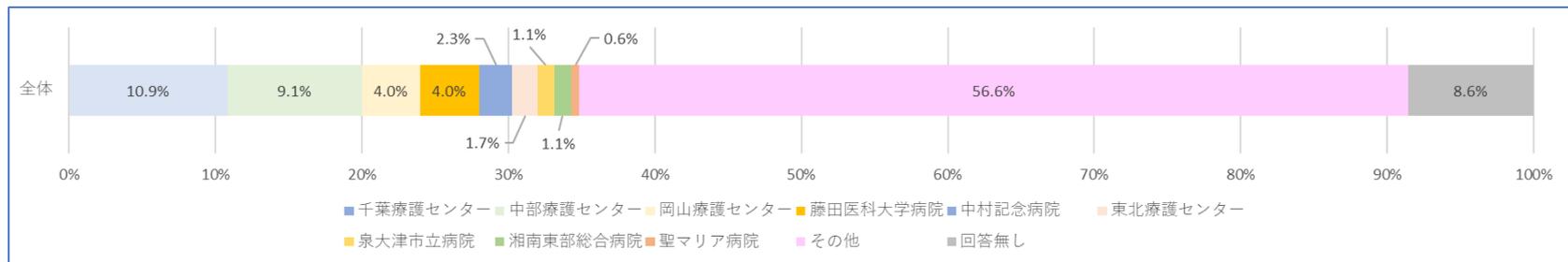
Q6-1: 短期入院協力病院を利用したことがあるかについては、『ある』175件(20%)、『ない』606件(69%)、『回答無し』99件(11%)であった。

II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-2:短期入院協力病院の利用先)

【設問】Q6-2:どちらの短期入院協力病院を利用されていましたか。

Q6-2	千葉療護センター	中部療護センター	岡山療護センター	藤田医科大学病院	中村記念病院	東北療護センター	泉大津市立病院	湘南東部総合病院	聖マリア病院	その他	回答無し	合計
全体	19	16	7	7	4	3	2	2	1	99	15	175
	10.9%	9.1%	4.0%	4.0%	2.3%	1.7%	1.1%	1.1%	0.6%	56.6%	8.6%	100.0%



Q6-2は、Q6-1で『利用したことがある』と回答した175人に対する設問である。

Q6-2: 短期入院協力病院の利用先は、多い順に、『千葉療護センター』19件(11%)、『中部療護センター』16件(9%)、『岡山療護センター』7件(4%)、『藤田医科大学病院』7件(4%)で、療護センター及び委託病床を合わせると61件(35%)であった。

『その他』は99件(57%)で、大部分は国土交通省指定の短期入院協力病院となっているが、指定されていない一般病院や短期入所協力施設の回答もあった。

Ⅱ. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-2:短期入院協力病院の利用先)

【設問】Q6-2:どちらの短期入院協力病院を利用されていましたか。(続)

協力病院 (病院名、所在地、件数)			協力病院 (病院名、所在地、件数)			協力病院 (病院名、所在地、件数)		
ポバース記念病院	大阪府	5	山形徳洲会病院	山形県	1	日比野病院	広島県	1
まるがめ医療センター	香川県	5	塩原温泉病院	栃木県	1	昭和病院	山口県	1
三才山病院	長野県	4	美原記念病院	群馬県	1	伊予病院	愛媛県	1
聖隷三方原病院	静岡県	3	東埼玉病院	埼玉県	1	新小倉病院	福岡県	1
さくら総合病院	愛知県	3	三郷中央総合病院	埼玉県	1	福岡青洲会病院	福岡県	1
済生会金沢病院	石川県	3	永生病院	東京都	1	宮田病院	福岡県	1
藍の都脳神経外科病院	大阪府	3	湯河原厚生年金病院	神奈川県	1	八代桜十字病院	熊本県	1
長星病院	兵庫県	3	富山西リハビリテーション病院	富山県	1			
福岡みらい病院	福岡県	3	鹿教湯病院	長野県	1	その他の病院 (病院名、所在地、件数)		
十和田市立中央病院	青森県	2	新町病院	長野県	1	みやぎ県南中核病院	宮城県	1
土浦協同病院	茨城県	2	渥美病院	愛知県	1	白沢病院	栃木県	1
八潮中央総合病院	埼玉県	2	知多厚生病院	愛知県	1	鹿島病院	茨城県	1
丸川病院	富山県	2	名古屋掖済会病院	愛知県	1	森ノ宮病院	大阪府	1
桔梗ヶ原病院	長野県	2	榊原温泉病院	三重県	1	よしみず病院	宮崎県	1
八千代病院	愛知県	2	川崎病院	大阪府	1	東京、山梨の病院	東京都、山梨県	1
愛仁会リハビリテーション病院	大阪府	2	済生会中津病院	大阪府	1			
広島県立障害者リハビリテーションセンター	広島県	2	わかさ電間リハビリテーション病院	大阪府	1	協力施設 (施設名、所在地、件数)		
かがわ総合リハビリテーション病院	香川県	2	六甲病院	兵庫県	1	太郎と花子	愛知県	1
近森リハビリテーション病院	高知県	2	倉敷スイートホスピタル	岡山県	1	やすらぎの郷	福井県	1
久留米リハビリテーション病院	福岡県	2	吉備高原医療リハビリテーションセンター	岡山県	1	エフォール	大阪府	1
福岡リハビリテーション病院	福岡県	2	荒木脳神経外科病院	広島県	1			
桜十字病院	熊本県	2	梶川病院	広島県	1			

Q6-2	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
病院・施設数		3	11	8	8	10	7	4	9	60
		5%	18%	13%	13%	17%	12%	7%	15%	100%
短期入院件数		4	13	15	13	19	8	10	14	96
		4%	14%	16%	14%	20%	8%	10%	15%	100%

『その他』99件のうち、具体的記載は88件あった。

内訳は、協力病院:51病院(87件)、その他病院:6病院(6件)、協力施設:3施設(3件)であった。

地域的には、近畿、北陸信越、九州沖縄で短期入院件数が増えている(北海道は回答が無かった)。

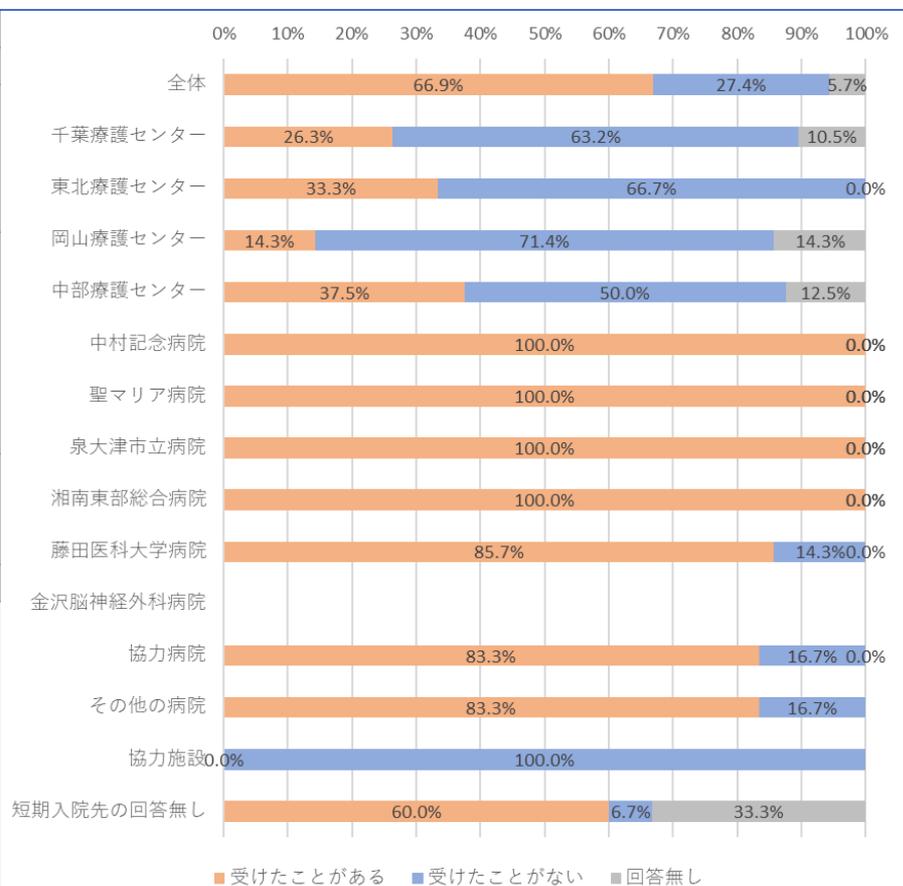
II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-3:短期入院中でのリハビリの有無)

【設問】Q6-3:短期入院中にリハビリを受けたことがありますか。

Q6-3	受けたことがある		受けたことがない		回答無し		合計	
全体	117	66.9%	48	27.4%	10	5.7%	175	100.0%
千葉療護センター	5	26.3%	12	63.2%	2	10.5%	19	100.0%
東北療護センター	1	33.3%	2	66.7%		0.0%	3	100.0%
岡山療護センター	1	14.3%	5	71.4%	1	14.3%	7	100.0%
中部療護センター	6	37.5%	8	50.0%	2	12.5%	16	100.0%
中村記念病院	4	100.0%					4	100.0%
聖マリア病院	1	100.0%					1	100.0%
泉大津市立病院	2	100.0%					2	100.0%
湘南東部総合病院	2	100.0%					2	100.0%
藤田医科大学病院	6	85.7%	1	14.3%		0.0%	7	100.0%
金沢脳神経外科病院								
協力病院	75	83.3%	15	16.7%		0.0%	90	100.0%
その他の病院	5	83.3%	1	16.7%		0.0%	6	100.0%
協力施設			3	100.0%			3	100.0%
短期入院先の回答無し	9	60.0%	1	6.7%	5	33.3%	15	100.0%

Q6-3: 短期入院中にリハビリを受けたことがあるかは、全体では3分の2がリハビリを受けており、療護センターでは約3割が、委託病床では大多数が、協力病院では8割がリハビリを受けている。



II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-4:短期入院中に受けたリハビリの内容)

【設問】 Q6-4: Q6-3で「受けたことがある」と回答された方にお聞きします。短期入院中にどのようなリハビリを受けましたか？
(回答自由記載)

Q6-4 短期入院中に 受けたリハビリ	該当する内容 (複数回答)																		
	関節可動域 訓練	歩行訓練	立位訓練	座位訓練	嚥下訓練	発声訓練	HAL等口 ロボット	高次脳機能 訓練	筋力増強訓 練	日常生活動 作訓練	車いす乗降 訓練	視聴覚 訓練	ボトックス 療法	不明	その他	OT	ST	PT	合計
全体	37	22	12	11	8	5	4	3	2	2	1	1	1	3	8	13	13	12	158
	23.4%	13.9%	7.6%	7.0%	5.1%	3.2%	2.5%	1.9%	1.3%	1.3%	0.6%	0.6%	0.6%	1.9%	5.1%	8.2%	8.2%	7.6%	100.0%

Q6-4: 短期入院中にリハビリを受けた内容(自由記載)は、多いものから順に、『間接可動域訓練』37件(23%)、『歩行訓練』22件(14%)、『立位訓練』12件(8%)であった。身体的リハビリが中心となっている。

一方、『PT』、『PT』、『ST』という別区分での回答も38件あった。さらに、『HAL等ロボット』も4件回答されている。

II. 集計結果

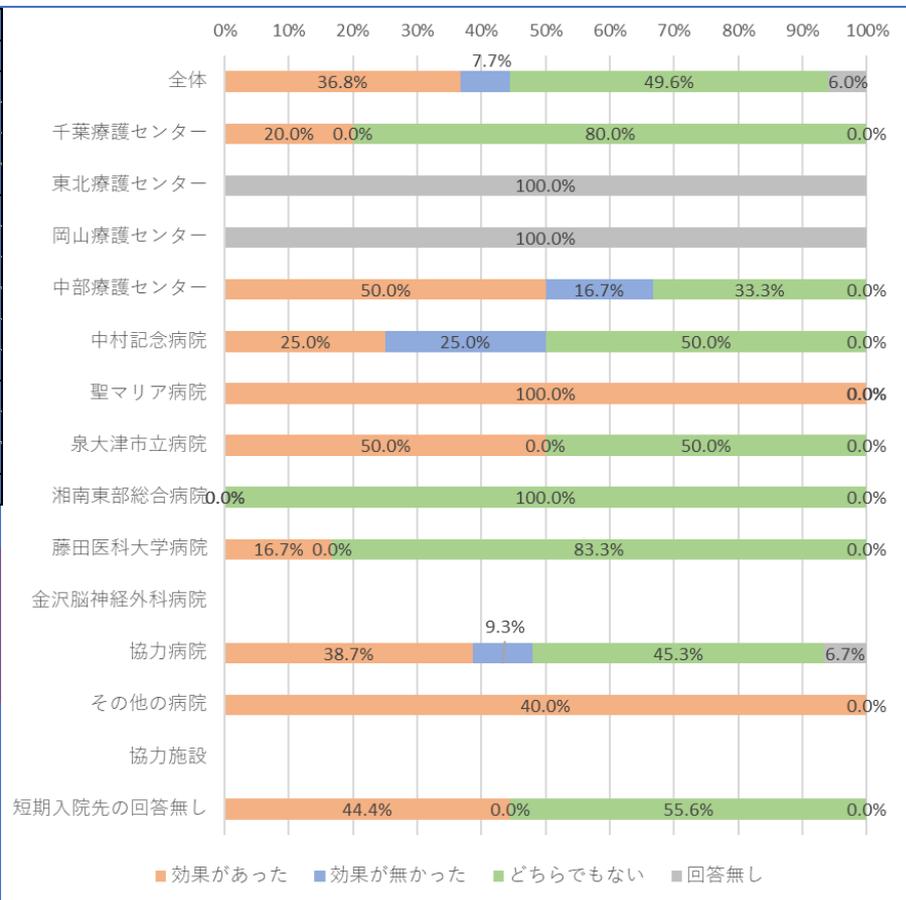
6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-5:短期入院中に受けたリハビリの効果)

【設問】 Q6-5: Q6-3で「受けたことがある」と回答された方にお聞きします。短期入院中のリハビリで効果は得られましたか？

Q6-5	効果があった		効果が無かった		どちらでもない		回答無し		合計	
全体	43	36.8%	9	7.7%	58	49.6%	7	6.0%	117	100.0%
千葉療護センター	1	20.0%			4	80.0%			5	100.0%
東北療護センター							1	100.0%	1	100.0%
岡山療護センター							1	100.0%	1	100.0%
中部療護センター	3	50.0%	1	16.7%	2	33.3%			6	100.0%
中村記念病院	1	25.0%	1	25.0%	2	50.0%			4	100.0%
聖マリア病院	1	100.0%							1	100.0%
泉大津市立病院	1	50.0%			1	50.0%			2	100.0%
湘南東部総合病院					2	100.0%			2	100.0%
藤田医科大学病院	1	16.7%			5	83.3%			6	100.0%
金沢脳神経外科病院										
協力病院	29	38.7%	7	9.3%	34	45.3%	5	6.7%	75	100.0%
その他の病院	2	40.0%			3				5	100.0%
協力施設										
短期入院先の回答無し	4	44.4%			5	55.6%			9	100.0%

Q6-5: 短期入院中に受けたリハビリの効果は、全体では、『効果がある』37%、『効果が無かった』8%、『どちらでもない』50%となっている。

短期間では明らかな効果は出ないと考えられるうえ、現状維持を効果ありとするか等、家族によって判断が異なることから、『どちらともいえない』との回答が半数を占めたと考えられる。



II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて(Q6-6:Q6-5の理由)

【設問】Q6-6:Q6-5の理由について、お聞かせください。(回答自由記載)

『効果があった』と回答した43件中の28件

Q6-6 効果の有無の理由	回答数	該当する内容 (複数回答)							合計
		拘縮の改善	可動域の拡大	機能低下無し	機能維持	機能向上	効果有と感じる	その他	
全体	28	8	3	2	2	1	9	6	31
		25.8%	9.7%	6.5%	6.5%	3.2%	29.0%	19.4%	100.0%

『効果がなかった』と回答した9件中の6件

Q6-6 効果の有無の理由	回答数	該当する内容				合計
		効果なし	変わらない	評価不能		
全体	6	3	1	2	6	
		50.0%	16.7%	33.3%	100.0%	

『どちらでもない』と回答した58件中の39件

Q6-6 効果の有無の理由	回答数	該当する内容						合計
		効果有と感じる	現状維持	効果不明	短期間のため	検査目的のため	その他	
全体	39	1	2	4	18	1	13	39
		2.6%	5.1%	10.3%	46.2%	2.6%	33.3%	100.0%

Q6-6: Q6-5の理由(自由記載)については、
『効果があった』と回答した43件中記載があった28件では、『拘縮の改善』、『可動域の拡大』があった。
『効果がなかった』と回答した9件中記載があった6件では、『効果なし』、『評価不能』等の回答であった。
『どちらでもない』と回答した58件中記載があった39件では、『短期間のため』、『効果不明』という回答であった。

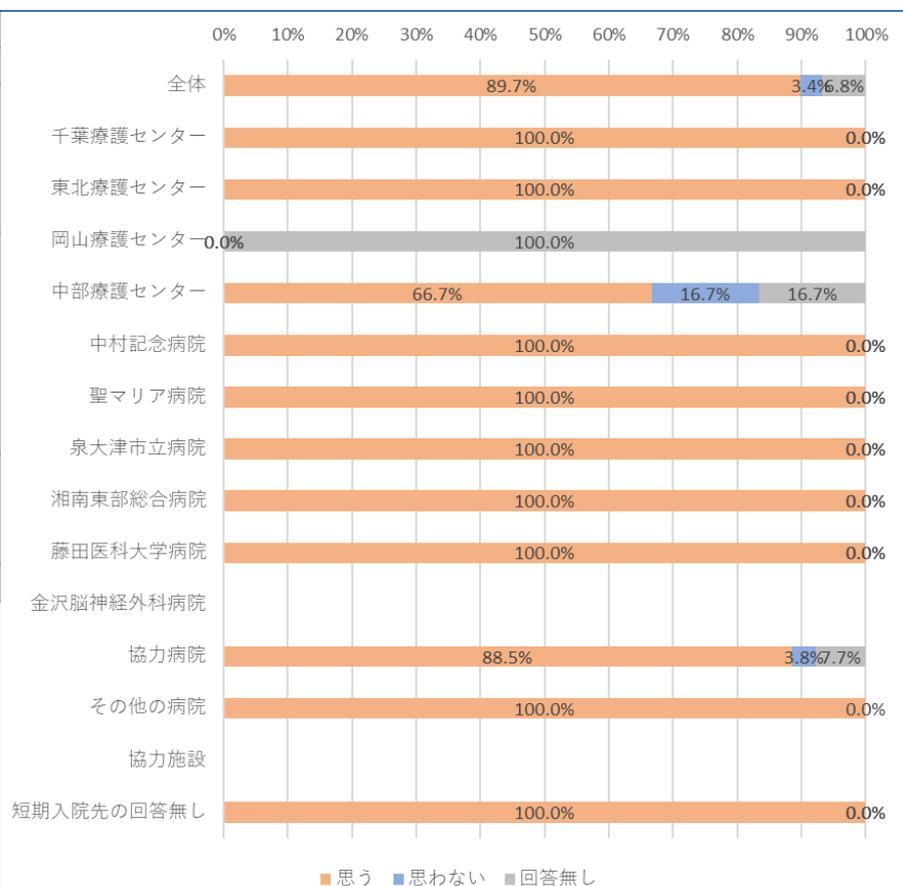
II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-7:再び短期入院中にリハビリを受けたいか)

【設問】 Q6-7: Q6-3で「受けたことがある」と回答された方にお聞きします。再び、短期入院中にリハビリを受けたいと思いますか。

Q6-7	思う		思わない		回答無し		合計	
全体	105	89.7%	4	3.4%	8	6.8%	117	100.0%
千葉療護センター	5	100.0%					5	100.0%
東北療護センター	1	100.0%					1	100.0%
岡山療護センター					1	100.0%	1	100.0%
中部療護センター	4	66.7%	1	16.7%	1	16.7%	6	100.0%
中村記念病院	4	100.0%					4	100.0%
聖マリア病院	1	100.0%					1	100.0%
泉大津市立病院	2	100.0%					2	100.0%
湘南東部総合病院	2	100.0%					2	100.0%
藤田医科大学病院	6	100.0%					6	100.0%
金沢脳神経外科病院								
協力病院	69	88.5%	3	3.8%	6	7.7%	78	100.0%
その他の病院	2	100.0%					2	100.0%
協力施設								
短期入院先の回答無し	9	100.0%					9	100.0%

Q6-7: 再び短期入院中にリハビリを受けたいかについては、全体では、9割が『受けたいと思う』と回答している。『受けたいと思わない』は、中部療護センター1件、協力病院3件のみであった。



II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-8:短期入院中にどのようなリハビリを行ってほしいか)

【設問】Q6-8: 今後、短期入院中にどのようなリハビリを行って欲しいですか。(回答自由記載)

Q6-8 短期入院中に行ってほしい リハビリ	該当する内容 (複数回答)																	
	嚥下訓練	在宅介護で 活かせるリ ハビリ	関節可動域 訓練	立位訓練	座位訓練	歩行訓練	筋力増強訓 練	発声訓練	高次脳機能 訓練	失語症訓練	日常生活動 作訓練	車いす乗降 訓練	PT	OT	ST	特に無し	その他	合計
全体	24	23	20	13	11	11	7	6	3	3	2	1	4	5	7	3	25	121
	19.8%	19.0%	16.5%	10.7%	9.1%	9.1%	5.8%	5.0%	2.5%	2.5%	1.7%	0.8%	3.3%	4.1%	5.8%	2.5%	20.7%	100.0%

Q6-8: 今後、短期入院中にどのようなリハビリを行ってほしいか受けたいか(自由記載)は、多いものから順に、『嚥下訓練』24件(14%)、『在宅介護で活かせるリハビリ』23件(14%)、『関節可動域訓練』20件(12%)となっている。

質問票の回答例として『嚥下訓練』、『在宅介護で活かせるリハビリ』があげられており、この回答例に影響された結果かもしれない。一方、『PT』、『PT』、『ST』という別区分での回答も16件あった。その他25件には、『毎日やってほしい』、『毎日同じでも短時間でもいいのでリハビリをしてほしい』や、『短期入院はリハビリがありません。リハビリをしてもらえないので、短期入院に行くのをやめました。』というご意見もあった。

II. 集計結果

6. 短期入院中のリハビリテーションについて (Q6-9:短期入院中にリハビリ以外に行ってほしいこと)

【設問】Q6-9: 今後、短期入院中にリハビリ以外に行って欲しいことはありますか？(回答自由記載)

短期入院を『利用したことがある』と回答した175件のうち90件

Q6-9 短期入院中にリハビリ以外に行って欲しいこと	該当する内容 (複数回答)											
	脳検査	健康診断	車いすの調整	新しいリハビリ機器の情報	在宅介護の相談	社会福祉制度等の相談	装具等の調整、修理	施設の紹介	リハビリの相談	特に無し	その他	合計
全体	36	19	18	14	9	7	6	1	1	8	16	135
	26.7%	14.1%	13.3%	10.4%	6.7%	5.2%	4.4%	0.7%	0.7%	5.9%	11.9%	100.0%

短期入院を『利用したことがない』と回答した606件のうち35件

Q6-9 短期入院中にリハビリ以外に行って欲しいこと	該当する内容 (複数回答)											
	脳検査	新しいリハビリ機器の情報	在宅介護の相談	社会福祉制度等の相談	車いすの調整	健康診断	リハビリの相談	装具等の調整、修理	施設の紹介	特に無し	その他	合計
全体	18	6	5	4	4	3	1			1	10	52
	34.6%	11.5%	9.6%	7.7%	7.7%	5.8%	1.9%			1.9%	19.2%	100.0%

Q6-9: 短期入院中にリハビリ以外に行ってほしいこと(自由記載)では、多いものから順に、短期入院経験者では、『脳検査』、『健康診断』、『車いすの調整』が、短期入院未経験者では、『脳検査』、『新しいリハビリ機器の情報』、『在宅介護の相談』となっている。

Ⅱ. 集計結果

7. その他のご希望

Q7 その他のご希望	該当する内容（複数回答）													合計
	再入院	治療・検査	リハビリ	親なき後	高次脳機能 障害	介護料	療護セン ター・委託 病床	協力病院・ 施設	その他病 院・施設等	面会等	福祉・介護 サービス	特に無し	その他	
全体	5	8	59	23	18	4	42	17	19	2	6	1	78	282
	1.8%	2.8%	20.9%	8.2%	6.4%	1.4%	14.9%	6.0%	6.7%	0.7%	2.1%	0.4%	27.7%	100.0%

Q7: その他のご希望(自由記載)については、259件の回答があった。

(複数項目に該当する回答もあり、項目別に集計すると282件の回答数となった)。

記載の多かった項目としては、『リハビリ』に関する内容が59件(21%)と最も多く、次いで『療護センター・委託病床』に関する内容が42件(15%)、『親なき後』に関する内容が23件(8%)となっている。

内容としては、『〇〇してほしい』、『〇〇であれば良い』というご要望の他に、療護センターや委託病床、短期入院協力病院を利用しての感想、在宅療養生活を続けている中での感慨、さらには自動車事故被害者対策制度やスタッフに対する感謝や今後の希望等が記載されている。

その他のご希望の具体的内容は、アンケート調査結果報告書に掲載する。